

No.2 キャリア教育関連用語

キャリア教育

「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」

【中央教育審議会「初等中等教育と高等教育との接続の改善について（答申）」平成11年12月】

「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえ、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」

【文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成16年1月】

キャリア教育の意義

(1) 教育改革の理念と方向性を示すキャリア教育

キャリア教育は、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すものである。

(2) 子どもたちの「発達」を支援するキャリア教育

キャリアが発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って形成されていくことを踏まえ、子どもたちの成長・発達を支援する取組みを推進することである。

(3) 教育課程の改善を促すキャリア教育

各領域の関連する諸活動を体系化し、組織的・計画的に実施することができるよう、各学校が教育課程編成の在り方を見直していくことが必要である。

【文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成16年1月】

キャリア発達

キャリアが子どもたちの発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って発達していくこと

【文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成16年1月】

自己の知的、身体的、情緒的、社会的な特徴を一人一人の生き方として統合していく過程

【文部科学省「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引き」平成18年1月】

キャリア発達課題

それぞれのキャリア発達段階で、職業・進路の選択能力及び将来の職業人として必要な能力・資質の形成という側面から発達上の課題をとらえたもの

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

| 段階 課題 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 |
|----------|--|--|---|
| | 進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期 | 現実的探索と暫定的選択の時期 | 現実的探索・試行と社会的移行準備の時期 |
| キャリア発達課題 | <ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 | <ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 | <ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 |

【文部科学省「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引き」 平成18年1月】

職業観・勤労観

「職業観・勤労観」は、職業や勤労についての知識・理解及びそれらが人生で果たす意義や役割についての個々人の認識であり、職業・勤労に対する見方・考え方、態度等を内容とする価値観である。その意味で、職業・勤労を媒体とした人生観ともいふべきものであって、人が職業や勤労を通してどのような生き方を選択するか基準となり、また、その後の生活によりよく適応するための基盤となるものである。

【国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」報告書平成14年11月】

望ましい職業観・勤労観

「自分なりの職業観・勤労観」という多様性を大切にしながらも、それらに共通する土台として、以下のような「望ましき」を備えたものを目指すことが求められる。

「望ましき」の要件としては、基本的な理解・認識の面では、

- ①職業には貴賤がないこと
- ②職業遂行には規範の遵守や責任が伴うこと
- ③どのような職業であれ、職業には生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があること

などがあげられるであろうし、

情意・態度面では、

- ①一人一人が自己及びその個性をかけがえのない価値あるものであるとする自覚
- ②自己と働くこと及びその関係についての総合的な検討を通じた、職業・勤労に対する自分なりの構え
- ③将来の夢や希望の実現を目指して取り組もうとする意欲的な態度などがそれに当たると考えられる。

【(国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」(調査研究報告書) 平成14年11月)】

キャリア・アドバイザー

企業の人事部門経験者、ハローワークの就職業務経験者をはじめ、自らが経験した職業・職種、仕事の内容について、求められる能力や資格要件、学校在学中及び卒業後にキャリアを形成していく方法等について専門的な知識や情報を持っている社会人・職業人

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

人間関係形成能力

他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

情報活用能力

学ぶこと・働くことの意義や役割およびその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

将来設計能力

夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】

意思決定能力

自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取組み克服する力

【「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」 平成16年1月】